

いきいきとした 町づくりを めざして



コイより元気だ！園児たち (生比奈保育所)

- 3月議会で決まったこと…………… P 2～5
- 臨時議会…………… P 5
- 一般質問12議員が登壇…………… P 6～17
- どうなったんで、船井電機…………… P 18
- 総務常任委員会先進地視察報告…………… P 19
- 私のひとこと・議会のうごき…………… P 20



予算決まる!!

5,300万円
7,100万円

(簡易水道、住宅新築資金)



あわせて



「今年度完成予定の新前川橋」(集落環境基盤整備事業 9,600万円)

三月定例議会

五十九億二千四百万円でスタート

平成十年度の予算を審議する三月定例議会は、三月十日から二十四日までの十五日間、開かれました。

町長の施政方針が示され、平成十年度の重点施策が各分野にわたって説明があり、予算書にもとづいて活発な質疑応答が展開されました。

一般会計予算は前年より十二・七％の減額となっています。この要因は、国・県の公共事業費削減による財政の厳しいしめつけや、主要事業の終了等が大きなウエイトを占めています。提案された二十八議案は、それぞれの常任委員会でも慎重に審議され、議会より要望を付し原案どおり可決されました。

また一般質問には、十二名の議員が登壇、論議がくりひろげられました。



「立川・相生線」(ふるさと林道整備事業5,000万円)

平成10年度

一般会計 40億

特別会計 18億

(国民健康保健、老人保健、集落排水、)

どう使う一般会計

一人あたりの予算は

(内は前年度)

総務費



117,488円
(115,626円)

民生費



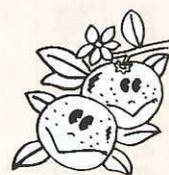
86,880円
(108,388円)

衛生費



30,418円
(30,853円)

農林水産業費



64,542円
(97,651円)

土木費



76,801円
(107,094円)

消防費



9,960円
(3,719円)

教育費



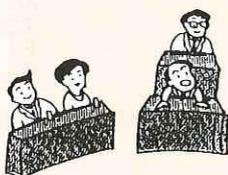
50,093円
(49,280円)

災害復旧費



7,823円
(2,750円)

議会費



9,909円
(9,664円)

商工費



1,867円
(11,158円)

公債費



106,223円
(97,146円)

予備費



2,088円
(3,429円)

平成10年 3月定例議会

議案を厳しくチェック!!

三月定例議会において、二十八議案について本会議での質疑が行われました。
その一部を紹介します。

問 一般会計の財政状況は。

答 主な財源である普通交付税の伸びは、前年度実績の一・四％という低い伸び率となった。歳出では、普通建設事業が前年対比五十八・六％と大きく落ち込んだ。
十年度は、さらに財政の弾力性がなくなり、非常に厳しい、財政状況である。

問 電源立地交付金事業による十年度の町道改良の取り組みは。

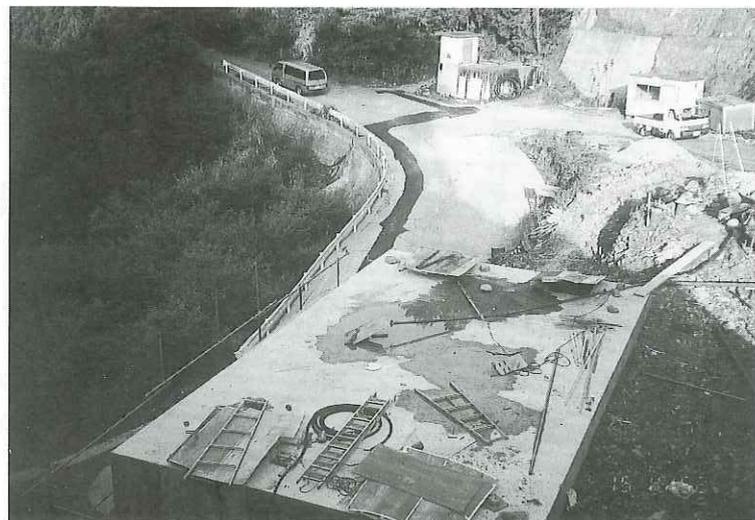
答 今年度は、十八路線についてまず十分な調査をし、地元や国、県との調整をしていきたい。

問 町営住宅使用料が前年度に比べ、約二十五％も減っている理由は。

答 公営住宅法の改正による新賃制度により計算した結果である。

問 各種イベント等への補助金額は。

答 ビッグひな祭り百万円、あゆまつり二百五十万円、みかん祭り二百十万円、よってネ市百万円である。



工事中の生名新貯水槽（下方）
古い貯水槽（上方）

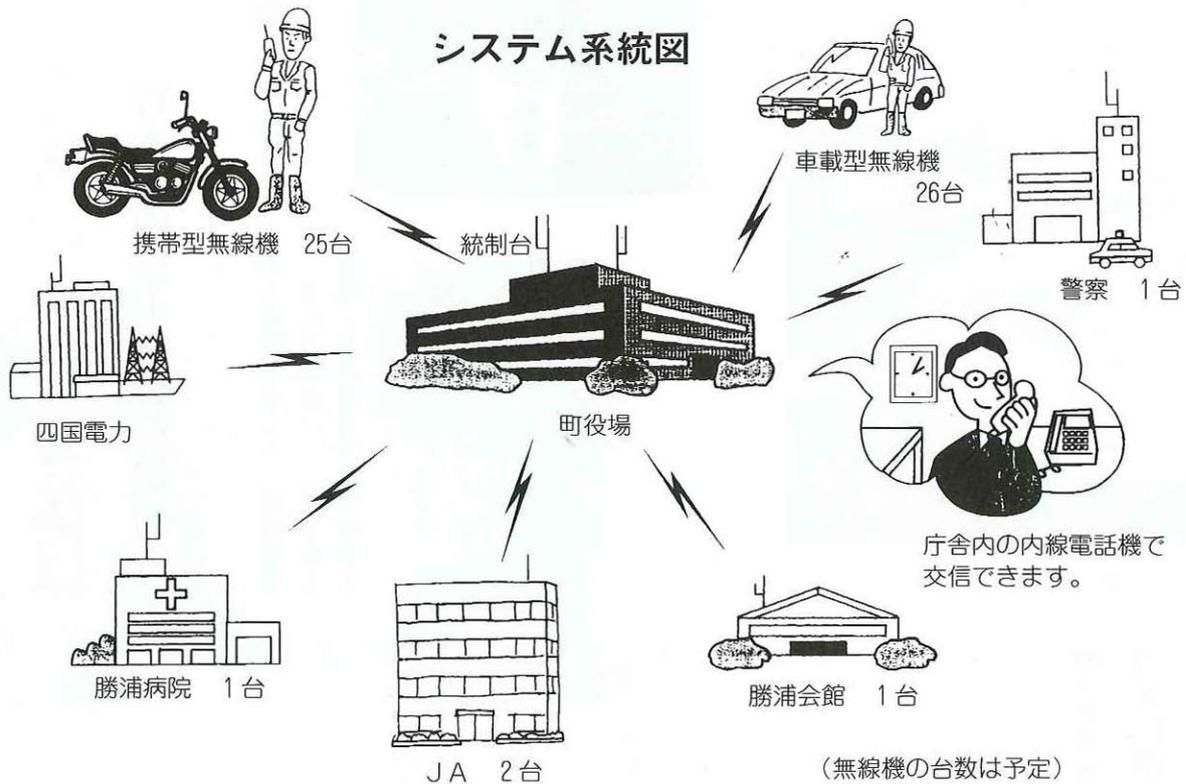
勝浦病院（九年度）運営費として二千三百万円の繰り入れ

制度改正等による、入院患者の減などで収益減少し、一般会計から補てんとし二千三百万円繰り入れしました。



地域防災無線を整備 事業費4,669万円

(地震・台風など災害発生時の情報収集連絡体制の整備のため)



○課の名称変更で担当窓口が
代逆行と思わないか。
管理職を二名増やすのは時
化するのが本来の姿であり、
化するの効率的に業務をスリム
化するの効率的に業務をスリム
化するの効率的に業務をスリム

議員側から

第一回臨時議会が二月二十
六日に開かれ、町長から二課
増やし十課にする課設置条例
が提案されました。

課設置条例を可決

平成十年 第一回 臨時議会

「難病医療等の自己負担導入反対の意見書」
全員一致で可決（3月議会）

「大きな負担を伴う難病治療の
公費負担は、社会保障の原点であ
る。」として、これに対する自己負
担導入に強く反対するという内容。
この意見書は、内閣総理大臣、
大蔵大臣、厚生大臣に送られまし
た。



二課増えた町役場

町長答弁として

「住民の多様なニーズに即
応した施策を総合的・機能的
に展開できるように地方自治新
時代にふさわしい体制の整備
を図る必要がある。」
より住民サービスの向上に
つながるよう一生懸命がんば
りたい。」と述べ、採決の結果、
賛成十二、反対一、欠席二で
可決されました。

わかりにくくなるのではな
いか。
○なぜ同和対策課を廃止しな
いのか、などの質問が出さ
れました。

救急患者輸送車の

今後の運営方法は

将来は隣接市と業務提携も

(川口町長)

福徳重二議員



約を継続するのか、町内業者と契約するのか、小松島市と提携して高度な輸送体制をとるのかどうか。

答 川口町長 新車納入後

も日の峰タクシーと契約を継続し、将来においては、町内業者との委託契約、日の峰タクシーとの継続契約、小松島市との輸送体制等の提携方法等いろんな角度から考えて、町民の一番いい方法で運営したい。

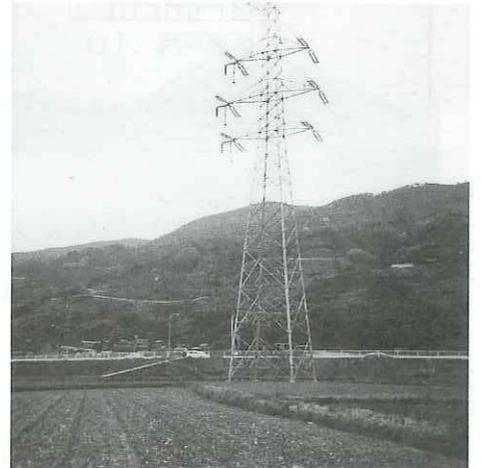
問 現在、小松島市の日の峰タクシーと、救急患者輸送車の委託契約を結んでいるが、利用者、町民からの意見はあるか。

答 国清環境衛生課長 現在までは何のトラブルもなくスムーズにしていると思う。

問 将来、日の峰タクシーと契



救急患者輸送車



町内の鉄塔

送電鉄塔・無線鉄塔の点検結果報告を義務づけては

問 香川県坂出市の鉄塔倒壊事故を見ると、同様な事故が町内でも起こることは考えられる。そこで企業・関係機関に対し、行政への点検結果報告を義務づけてはどうか。

答 川口町長 行政として初めてのことであり、義務づける方法があるかどうか調査検討したい。

町・地区間で町道改良の考えに差がありすぎる

問 電源立地交付金による町道改良を実施してい

るが、当初に町が地元に対して説明した内容であれば、配分された交付金により厳しい法規制なしで全て予定通り完了するものと地元は理解している。町が法規制のなかで線引きをしてみ

ると、地元の理解に反して現在利用している道路を全く利用できないケースもある。平成十年度以降進めていくのに無理があり、期限内に完了できないと思うがどうか。

答 川口町長 全町的に総点検をするなかで、地元の意に沿った方法で進めていきたい。重要変更が生じた場合、期限延長し、完了させたい。

県道・徳島一上那賀線の整備拡幅を最優先課題とせよ

問 サラリーマン生活者のウェイトの高い本町では、数え切れないほどの人と車が毎日県道・徳島一上那賀線を利用している。現状にあっ

た政策を進めるのに二期目の町長は、県道・徳島一上那賀線の整備拡幅を最優先課題とすべきだ。

答 川口町長 行政の最重要目標として取り組んでいきたい。

人形会館を建設しては

問 昨年のビッグひな祭りの入場者が三万人、鶴林寺への参拝者が年間十万人、よってネ市へ年間一万人、上勝町への流動人口が年間三十万人、合わせて年間数十万人が勝浦を訪れている。伝統的文化である浄瑠璃の演舞場、町特産品販売所、温泉、宿泊施設と、一年間見られる人形会館を併せて建設してはどうか。

答 川口町長 建設したい気はあるが、財源、運営、維持管理等いろんな角度から慎重に検討していきたい。



産業活性化の取り組みは？

溝田義昭 議員



答 岡本産業課長 みかんを中心とした農業の町を基本に、スダチ、ナス、キュウリ、イチゴを推奨する中で、所得の向上を図っていききたい。

後継者の育成は？

問 所得のあがる産業、農業であれば後継者はできるという考え方もあるが、やる気のある人材を育成し、その人達が自分の力で新しいものに挑戦していくことが大切だと思うが。

答 川口町長 これからの町の生き方としては、それが一番活性化につながると思う。今後、そういう趣旨を特に重視して、行政を進めていきたい。

花嫁対策は？

問 しばらく置いていなかった専門相談員を十年から置くというが、これからの時代、国際結婚にも理解のある人にすべきだと思うが。

答 川口町長 行政が国際結婚に取り組むにはいろいろ問題もあるが、今度相談員に予定している方と協議し、検討してみたい。

新しい企業誘致は？

問 船井電機、キタジマ木工と誘致企業が次々と閉鎖される中、厳しい時代ではあるが、新しい企業誘致を考える必要に迫られているのではないか。

答 川口町長 若者が働ける企業があれば即手を挙げ、その対応は惜しまない。中高年が働く企業については住民の意見を聞く中でどうすべきか検討したい。

住宅マスタープランについて

問 住宅マスタープランの第一段階として実施した住民アンケートの回答率は、また分譲宅地の場合、坪当たり十数万円位までの宅地でなければと思うが。

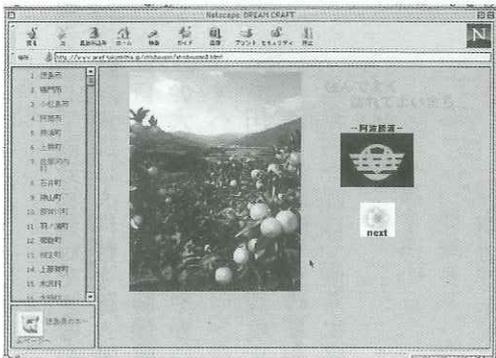
答 秋本企画開発課長 回答率は四十三％。分譲宅地の場合、一区画五十坪

〜百坪程度、坪当たり十数万前後でできる計画にしたい。

インターネットの充実を

問 情報化の最先端のインターネット、そのホームページで勝浦町を含め、県内多くの市町村が紹介されているが、今後もっと内容を充実させる必要があると思うが。

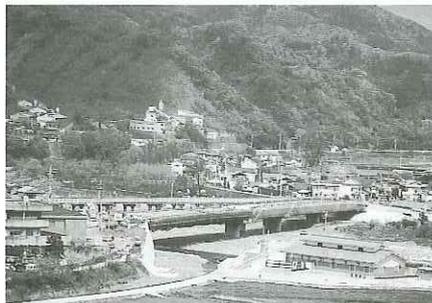
答 秋本企画開発課長 現在のは町の史跡や観光、イベントの紹介欄になっている。機構改革の中で産業振興課の仕事の一つとして情報の収集、発信があるので、インターネットの調査研究、またホームページについても町民の期待に応えられるものになると思う。



内容の充実が望まれるインターネットのホームページ



新横瀬橋の親柱（恐竜と鮎）



今夏開通予定の新横瀬橋

新横瀬橋の開通はいつ

問 町民待望の新横瀬橋、本体工事は順調に進んでいるように見受けられるが、開通のはっきりした時期は。

答 秋本企画開発課長 取り合的な用地交渉もまだ進んでいる状況で、具体的には決まっていない。夏頃ということである。

女性会(婦人会)の 名称問題の早期解決を!!

中西晴美 議員



に決めてもらうことで意見の一致をみている。

問 女性会、婦人会というのでなく、早く一本化して県下各町村の婦人会と仲良くやってもらいたい、所見は。

答 松浦教育長 どちらがよいとかはいえない。総会で民主的に決めてもらいたい。今後もお世話なり指導はしたい。

問 町長の所見は。

答 川口町長 お互い思いやりを持って仲良くやってもらいたい。

問 町長の基本的財政感覚は?

答 川口町長 金がないので節約をして、財政再建をしたい。

問 名称問題で女性会が二つにわかれている。三年前の総会で会長提案により、婦人会が女性会となった。現在もとの婦人会として、県、郡の婦人連合会と一緒にやっていきたいという意見が、会員千百人中千人と聞くと、教育委員会はどうに指導しているのか。

答 倉橋教育委員会事務局 長 社会教育上自主団体であり、教育委員会は強制的なことではない。三月九日、役員に集まってもらって、三月中に総会を開き、民主的

問 勝浦町は平成十三年頃が財政の悪いピークだと思ふ。県下一財政が悪くなるのでは。

答 川口町長 減債基金の積み立て等を考えていかなければならない。

当初予算は 公約に違反!!

公約の重点項目が予算化されていない。みかんを中心とする農業重視予算が見当たらないし、商工業予算についても商工会の補助金三百万円は、十年間据え置きだ。金がなくてできなければ、「ごめんなさい」と正直に言えばよい。町民をだますような公約はすべきでない。

問 川口町長 農業振興予算は四千万円つけている。商工会補助金は、現状では精いっぱいだ。

問 同対策課の早期廃止と地籍調査課の設置を

答 六十二年答申を尊重し同対策は即廃止すべきだが、今回の課の変更に生かされていない。同対策の廃止

なくして財政再建はできない。地籍調査課は人件費を除き国が経費をみてくれる。勝浦町百年の大計のもとに速やかに実施すべきだ。

問 川口町長 同対策廃止は、懇話会でつめてから。地籍調査課は今直ちにはできない。

医療と年金改革に ついて

問 町の年金受給者の数と金額は。また、納付保険料はどうか。

答 川口町長 受給者千八百三十八人、受給総額約九億三千万円、納付額一億二千万円。その差額は約八億円である。

町長の政治姿勢に ついて

問 時本製材、立川山林火災について二年間も犯人が確定できず、この程犯人が逮捕されたが、町長は消防長も兼ねているので被害者へおわびしてはどうか。また、その責任は。

答 川口町長 犯人を町長は早い時期に知っていたのではということだが、警察も知らないのに私が知るはずがない。判決が出ていないのでおわびに行けない。



答弁くい違いに よる統一見解

中西、原田、井出議員に対する、山林火災等についての答弁くい違いの指摘を受けての統一見解(議事録より作成)

答 川口町長 被害を受けた方々には、団長なり関係課ともよく相談して謝罪の方向で検討していきたい。

老人保健施設の設置を!!

森 敏治 議員



実現のため、相乗効果が発揮でき、共生できる体制を築くべきだ。

答 川口町長 現在、特養に入所を希望されている方は六、八名で、町の施設では受け入れられない状況である。老人保健施設の設置については、数字的なものを調査し、いろいろのことを視野に入れ、前向きに検討してみたい。

町立病院と特養の中間施設の整備を

前向きに検討したい
(川口町長)

当初予算に新しい事業が見当たらない

問 平成十年度予算は、前年対比六億円の減で、

公約の意欲が見えない予算である。予算編成に当たりその姿勢を問う。

答 川口町長 一部事業が完了したことや、物件費の削減等によるものである。財政の健全化に努め、子や孫によい負担をかけないように取り組むことも重要である。他町村と比較しても特に勝浦町は財政が厳しい。今後は、組織改革を通じて積極的に対応し、がんばりたい。

救急車の早期購入を

問 現在、日の峰タクシーに業務委託しているが、町内に到着するには三十〜四十分はかかり、救急自動車としての機能は全く果たせていない。一日も早く体制を整えられたい。

答 川口町長 町内には二業者あり、人的、金額の問題等々あり、議会とも協議したい。現在、小松島市と協議中の救命士が同乗した救急車は、内容的には良いが、時間的問題や、狭い道路が多問題も残されている。

火葬場の問題について

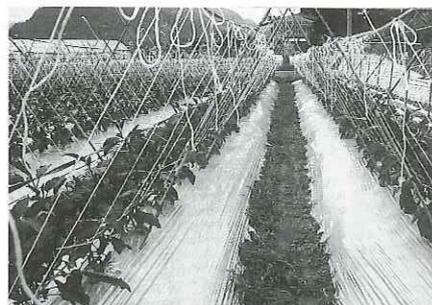
問 火葬場は主に小松島市にお願しているが、本町と上勝町は、いわゆる部外者扱いである。上勝町と連携し、町民の不安や問題解決のため、小松島市に対し行政的対応を求め必要がある。

早急に雇用の場の確保を!

企業誘致は厳しい (川口町長)

問 企業の存続は、すでに見通しが暗い。次の企業誘致を早急に検討すべきであり、通産省で何か手がかりがつかめたか。

答 川口町長 通産省では、具体的話はできなかつたが、つながりはできたのでこれを機会にご指導願うよう努力したい。企業誘致は産業空洞化の時代であり厳しいものがある。



夏秋ナスの栽培

チャレンジする農業への転換を!

議会と早急に協議したい
(川口町長)

問 二期目を迎えた川口町政は、みかんを中心とした農業による町づくりを提唱しているが、みかんには不安材料も多い。緊急所得向上対策と恒久対策を策定し、生鮮食品の基地として団地化を図り、チャレンジする農業へ転換する必要がある。行政の対応として助成制度の確立を。

答 川口町長 みかんは生産量も多く、複合経営を旨としたい。作つたら売れる時代は終わった。今後は、消費者の動向を見極め、消費者のために物を作ることを基本にいろいろ検討し、議会とも協議したい。助成制度の確立は考えていない。

問 介護保健法が施行されると、在宅介護より施設介護を望む家庭が増えることが予想され、また、すでに入所している方は基準から入れはしないかとの不安、さらに、病院は相当きびしい状況が予測され、退院してもめんどろを見てくれない人(社会的入院患者)が増えることが考えられる。福祉の町づくり



要望する老人保健施設

平成十三年を目標にしては？

神原 忍 議員



みかん農業の振興

問 平成十三年に徳島県が主催する「全国カンキツ研究大会」が開催される。県果樹試験場や勝浦町内の優秀園には、数百人の全国から集まった熱心な視察者が訪れる。

町行政も町内全域の意欲あるみかん農家と一丸となって、平成十三年を一つの目標として宿願のみかん栽培の近代化に、思い切った集中的に取り組んでみてはどうか。

ある新聞に、みかん同様、最悪の安値市況に泣くりんご農家の中にあつて、共同で完

熟堆肥をつくり成果をあげている五戸の農家の話が紹介されていた。

堆肥を大量に投入した五戸の畑から出荷されるりんごは、有機栽培のうまいりんごとしてずっと高値推移だという。町内で大量に堆肥のできる今、勝浦町でも果樹園の土づくりや品質の向上を目ざした堆肥の投入を推進してもよいのでないだろうか。九年度分のみかん園への助

成措置はどのくらい利用されたか。また十年度はどんな振興策を立てているか。

答 川口町長 みかん園での苦しい作業として三つあげると運搬、採取、消毒かと思う。

みかん採取の省力には、樹を低くする思い切った樹型改造が一番良い方法と思う。運搬では園内道、軌道車、架搬車（キャタピラ付）が増え、今後の補助金対策もしていきたい。今一番大変な作業となっているのが消毒。SSが理想だが、地形的に無理なところが



架搬車にセットされた風洞式消毒機（生名 仲田豊光氏の園にて）

多いので、スプリンクラーを設置するとか、薬液と風洞式ポンプを一緒に架搬車に積む方法も良いのではないかと思う。今後国・県の助成もあおぎながら、平成十三年に向かって町としても最大の努力をしていく。

答 岡本産業課長

大会の現地視察地として、一つは県の果樹試験場が決まっている。他に町内のどの園を見てもらうかは、関係団体と相談して早く決めたい。九年度のみかん関係の補助では架搬車の三十二台が特に多かった。十年度も三十台分の補助枠を組んでいる。

近年購入した町の小型エンボも園内道づくりや、苗木定植等に今春は忙しくなる予定。今後大いに活用して省力化をしてほしい。堆肥による土づくりもこれから推進したい。



加工品も並べられているよってネ市（生名）

加工して特産品づくりを

問 町内で生産される農産物を加工して販売して

はどうか。よってネ市等に出ている中に人気のある加工品

もある。

個々で迷いながら考えるより、研究グループとかサークルをつくって、じっくり取り組みれば立派なものができるのではないか。

答 川口町長 農業改良普及センター等とも相談しながら検討してゆく。

答 岡本産業課長 現在二地域のグループが加工にも取り組んでいる。将来、加工してそれを販売したい希望者があれば対応する。

当初予算を問う 四〇億五三〇〇万円ゴロを合わせて しまつてほしい

森 健 議員



松浦総務課長 財政構
造改

問 予算査定、編成等一連の作業をとおしてキーワードをあげるとすれば、どういう言葉が当てられるか。

答 松浦総務課長 申請に
伴う事業計画書、完了
時の実績報告書によつて行っ
ている。

問 前年に比べて（四十六億四千二百万円）大きく減額になった主な理由は何か。また、経常経費の前年対比は。

答 松浦総務課長 申請に
伴う事業計画書、完了
時の実績報告書によつて行っ
ている。



問 町内任意団体に対する補助金について、その公益性のみきわめと、交付後の実績の把握はどのようにしているか。

答 松浦総務課長 申請に
伴う事業計画書、完了
時の実績報告書によつて行っ
ている。

問 監査報告書、決算審査時に指摘のあった事項は、予算にどう生かしたか。

答 川口町長 生かし得て
ていない。

問 「若者に夢のあるような政治」金がなければ知恵を出せ」とは町長がよく言われる言葉だが、夢や夢のあるようなことは、予算のどこに具体化してあるのか。知恵の出どころは、どこなのか。

答 川口町長 できていない。

問 松浦総務課長 厳しい財政下で、きわだったものはない。あえて言うならば、花嫁対策専門員、産業者成補助金等が夢につながるであらう。

問 議会決議のあった団体助成金は、予算編成上どのように考えたか。受け止め方はどうか。

答 川口町長 議会決議は謙虚に受け止め、削減に努力する。予算上は同額であるが、町村会に向けても努力する。

答 信政同和対策課長 十年度の助成金については、町村会評議員会で審議し、総会で決定した。金額については、前年と同額である。今後は、勝浦町議会決議を尊重し、国・県の動向を見ながら対処する旨の通知がきている。

機構改革について

問 この度の機構改革について、町長の意欲は大変なものだと感じた。人的条件や配置については万全だと思うが、今後、県など町外との人事交流をどう考えるか。

答 川口町長 今後の広域行政や人づくりのためにも、近隣町村との交流や、県との交流も必要と考えている。町行政にとって人脈を生かした対応は必要と思う。



馬越扉門の抜本的な改良を

原田昭三 議員



問 県道で出水時において、扉門を閉めなければならぬのは、徳島県でもただ一カ所ではないか。馬越付近の県道を抜本的に改良し、出水時に扉門を閉めなくてよいよう県に要請すべきでないか。

答 松浦総務課長 中角馬越は、将来に向けて改良に取り組みたい。

問 出水時の扉門の管理は、中角地区ではできない。今後、県の管理で行ってほしい。

答 松浦総務課長 管理責任等があるので、早急に県の方へ出向いて管理していただくように要請したい。

問 時本製材及び立川山林火災消防長としての責任は？

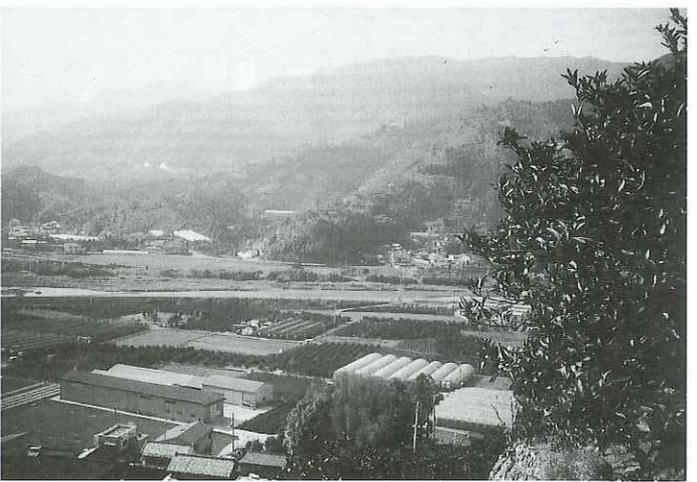
答 この火災は放火であった。犯人に対し、町がこの火災に出費した経費の請求をすべきであると思われるが。

答 川口町長 弁護士等と研究してみたい。

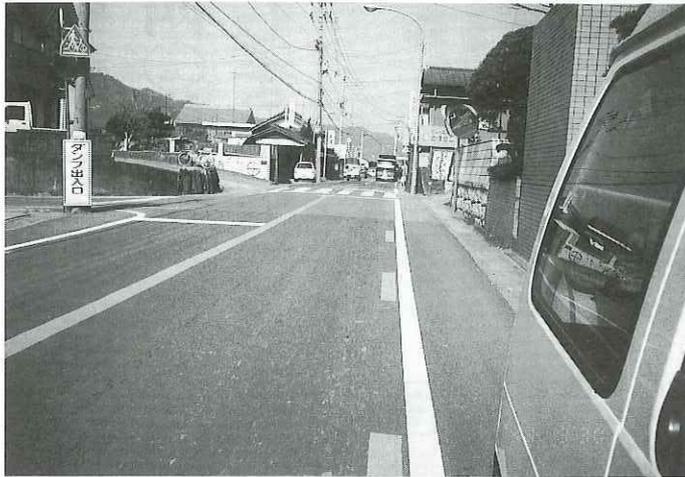
答 松浦総務課長 出火者に対しては町は弁償の請求はできないことになってはいるが、なお研究してみたい。

問 放火犯が消防団員であった。町長は消防長としてどのような責任を取られるのか。また被害を受けた人に対し、どのような謝罪をされるのか。

答 川口町長 消防長としての責任は判決が出てから考えたい。その時点では、町民や被害者に対する謝罪についても、当然のことだと思っている。



中角地区のほ場整備バイパスはいつ？



改良が待たれる中角馬越扉門



火災被害を受けた時本製材所

中角バイパスのコースの決定を

問 中角バイパス工事ができよう県当局に働きかけをしていくべきでないか。

答 川口町長 県当局へ要請していきたい。

答弁くい違いによる統一見解

中西、原田、井出議員に対する、山林火災等についての答弁くい違いの指摘を受けての統一見解（議事録より作成）

答 川口町長 被害を受けた方々には、団長なり関係課ともよく相談して謝罪の方向で検討していきたい。

平成十年度重点事業を問う

宮本久治 議員



土地改良区の水質汚濁防止施策等である。

答 松浦総務課長 町長の公約に基づき町単、県単事業（農林、商工、観光、社会教育、住宅）等交流の広がる町づくりを進めていきたい。

機構改革を問う

問 町長はどの時点で改革を計画したのか。一期目か、二期目当選後か。

答 川口町長 一期目から考えていたが、二十一世紀に向かって財源の厳しい中、また、地方分権のからみでどのような行政をすべきか、最終決断をしたのは二期目当選時である。

答 早川助役 町長の意を受け、庁内で検討委員会を作り平成七年二月に答申した。

問 改革で二課増設し十課三十五係となる。これで住民サービスが充分できるか疑問である。

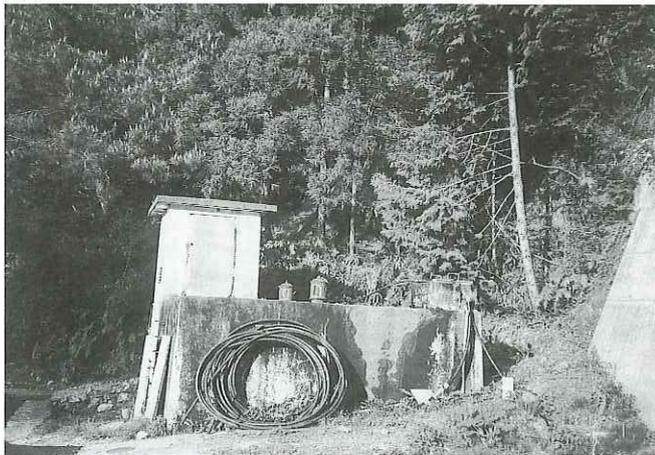
答 川口町長 十課に増やすことで濃密なサービ

スができると思う。適材適所に人員配置をしたのでご理解願いたい。

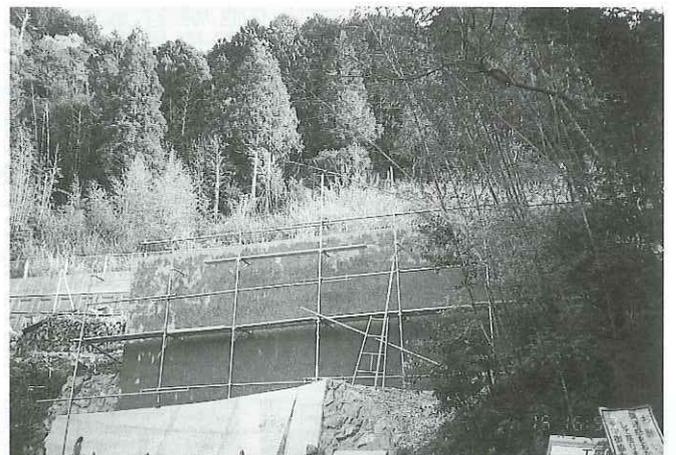
生名簡易水道事業について

問 生名簡易水道事業の平成九年度予算減額とその理由は。

答 国清環境衛生課長 生名簡易水道は、水不足対策のため、国補事業で平成九年度より三カ年の継続事業として、平成九年三月、国の採択を受けた。九年度は、水



現在の生名簡易水道水槽



建設中の生名簡易水道新水槽

管、配水管、消火栓の事業を實施したい。

問 生名簡易水道に町は何口加入されるのか。

答 国清環境衛生課長 組合と協議しているのは五口である。

勝浦町立病院経営について

問 病院の経営は、今後医療制度の改正等により、運営方法を見直すべきでないか。

答 河野参事兼病院事務局 長 十年度は現状運営で行く。それ以降は国・県の指導を得ながら、財政負担のかわらない方向、また、患者へのサービス低下にならないよう調査研究中である。

問 平成十年度の見過しは。

答 川口町長 十年度は第二水源の整備、送水管布設、水源の補強、送水

源、揚水、送水、配水池等の施設で、九千三百万円余りの計画で申請をしたが、国庫補助金が半に削減され、事業を縮小した。

問 町長は議会開会に当たり所信表明をされたが、継続事業を含め本年度の重点事業は。

答 川口町長 重点事業は予算計上に示している。なお、具体的には関係課長より説明する。

答 桂木建設課長 建設課では総額七億五千万円、主なものは集落環境整備事業として前川橋と周辺舗装、電源立地による交付金事業として道路七カ所の改良舗装等である。

答 岡本産業課長 農業振興関係では、町単独事業として省力化機械の導入、

消防団員の確保と 将来の消防体制は？

山田昌男 議員



するのは必死である。勝浦町においても、今後、消防OBなどによる体制を整える必要が出てくるのではないかと、消防団からの苦情とか、報酬等の要望はなかったか。

答

川口町長 坂本地区に消防予備隊、星谷地区に星谷防災団という組織ができています。消防OBによる消防体制については、将来に向かって検討していきたい。

答

松浦総務課長 過去に、は、たび重なる水防体制の時の出動手当の要望があった。しかし、消防団は、自らの郷土は自らが守っていくという伝統を持っており、特別な場合を除き、奉仕活動でお願いしたい。

問

救急患者の輸送対策について、小松島市とは連携して取り組んでいきたいと言いますが、上勝町との協議を断念した理由は。

答

川口町長 上勝町としては、地理的条件や住民サービスの低下などの理由で、勝浦町と一緒にやれないという最終結論が出された。

林道の危険箇所の舗装を！

問

星の岩屋、白石、フライトパーク基地に通じる林道は、急こう配で危険・通行止の箇所があり、災害の恐れがある。補助的な事業等

により舗装できないか。

答

桂木建設課長 この道は延長六千六百m、幅三mある。県単林道事業で星の岩屋まで舗装できたが、距離が長いのでこの事業では無理。他事業を検討中。危険箇所は三カ所ある。

答

早川助役 「ふるさと林道事業」があるが、幅が四m必要である。受益者負担等の問題もあるので、関係者との協議が必要だ。

問

出役方式によって、急こう配、危険箇所の舗装はできないか。

みは。

答

秋本企画開発課長 できれば町内十五カ所ぐらいに宅地分譲地の計画をしたい。将来の方向性を三月中旬に練り上げたいと思っている。今後、各地区を回り、住民の理解を得た位置に決めたい。

答

早川助役 宅地開発については、土地開発公社等での事業実施も含めて対応したい。

答

川口町長 財政の許すかぎりには積極的に取り組んでいきたいが、即事業に乗せるのは難しい状況だ。

宅地開発計画は進んでいるか？

問

若者定住施策としての住宅マスタープラン策定についての取り組み

答

桂木建設課長 生コンの支給という方法については、財政当局と協議したい。

問 県内の消防団員は年々減少し、運営の困難さが指摘されている。定数枠に達しているのは十町村であり、大半が定員割れしていると聞か、町の現状はどうか。

答

松浦総務課長 町消防団員の条例での定数は二百四十名である。定数どおりの団員が任命されている。平均年齢は三十四・五歳。

問

県下の状況を見ると、過疎化、若者の入団拒否などにより、地域の防災機能の低下という問題が深刻化



平成10年 消防出初式風景

水田の減反問題について

国清 栄 議員



国等への農林関係補助金申請をした場合、優先順位が遅れると聞かされているので大変だ。

問

勝浦町の場合、自家消費が大部分であり、販売については多くないと思う。県に対して充分実情を説明してほしい。また、転作については作目選定をどのように考えているのか。

答

岡本産業課長 県に対してはお願いもしている。また、作目選定については、JA、普及センターとも今後よく協議していきたい。

最近の少年の

犯罪について

問

少年犯罪については、経済不況等複雑な社会環境とともに、少子化の問題も起因しているのではと思う。「大事に育てる」がやれず、れば過保護につながり、また、遊びもファミコンゲーム等機械相手中心で、友達とのつながりの希薄さ、自分中心の考え等が挙げられるのではないか。教育委員会として学校現場に対して指導できる範囲は。

問

学校教育現場から暴力に関する問題について、報告を受けたことはあるか。また、それらを未然に予防するため具体的にどのように対応しているのか。

答

松浦教育長 現在これらに関する報告は受けていない。また、未然に防止するため学校に正当な理由なく刃物を携帯することは、軽犯罪及び銃刀法に違反することを示したパンフレットを生徒に配布し指導している。また、校長を中心に教職員一丸となって、人権の尊さや人間として当然守るべきことを身につけさせる指導の徹底をお願いしている。

産業振興課職員について

問

将来的も含めて専門職員の配置の考え方を問う。

答

川口町長 技術的な知識も備えた専門職員も必要であるが、販売、市場、消費動向等を網羅し先取りできる知識を持った職員を今後考えていく必要がある。みかんだけでなく農業全体としての観点からとらえていきたい。

達成見通しは？

大変厳しい

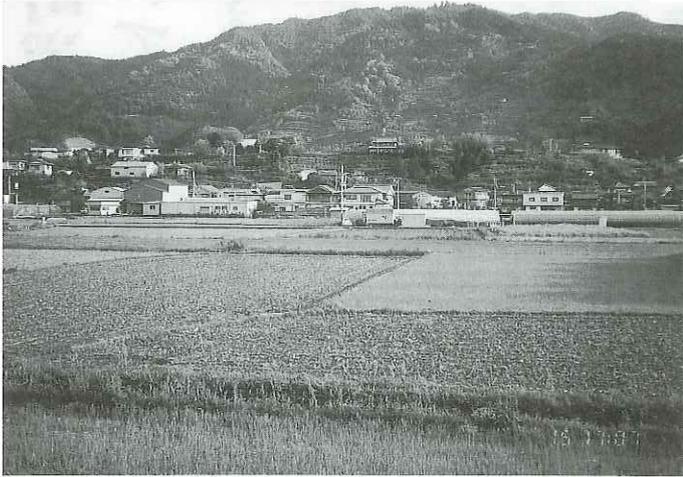
(岡本産業課長)

問

全国水田二百七十万haのうち本年九十六万haを減反しなければならない情況下にある。勝浦町での減反割り当て面積と達成見通しは、また、目標がクリアできない場合のペナルティーは。

答

岡本産業課長 町の水田面積は百二十haあり、昨年より十三・五ha増の五十五・九haの減反をしなければならぬ。目標達成は大変厳しい。できなかつたときは、



この水田も減反の波が!!

答

松浦教育長 地方教育行政の組織及び運営に関する法二十三条に明記されている。学校の組織編成、



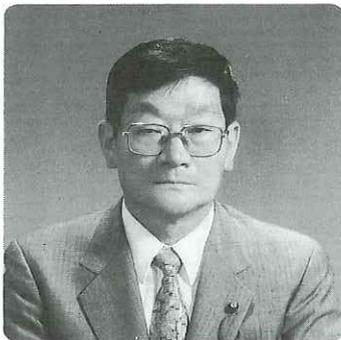
勝浦中学校

畑総事業と町道改良

補修について対策は？

解決策を考えたい（桂木建設課長）

西浜勝己 議員



いとどの住民の声、日毎に多い、対応策を問う。

答 岡本産業課長 町道の補修については約束でささない。これからの課題として県と協議しなければならぬ。

問 町単改良費六〇〇万円では、何もできない。

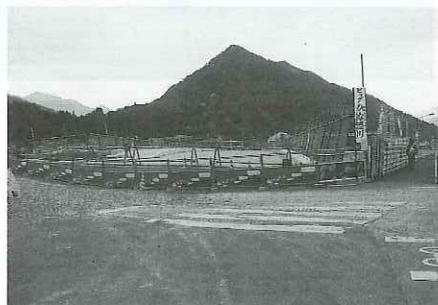
著しい損傷で、通行上、危険だ。建設課長の見解を求める。

答 桂木建設課長 産業課、県、改良区、建設課ともども協議を行い、現場精査して補修に向けての解決策に取り組みたい。

横瀬橋周辺対策を見切り発車はするな!!

県とも協議する
(川口町長)

問 横瀬橋架け替えて供用開始の話が聞かれるが、取り合い道路等周辺対策が解



横瀬橋棚野側急こう配の早期解決を!!

決しなければ、交通安全対策上「危険」だ。供用開始は取り合い道路等工事完成後でなければ困る。見解を問う。

答 川口町長 指摘される通り、周辺整備ができなければ供用開始はしないよう県とも協議したい。

南部農免道第二工区工事着手はいつ?

今秋から
(秋本企画開発課長)

問 平成十年度事業計画で、予算はまだ確定していないが、今後のスケジュールについての対応策を問う。

答 秋本企画開発課長 取り組みについては測量後、境界確認を急ぎ、用地買

収や関係する諸問題が解決すれば、今秋十月頃、起工式ができるのではないかとと思う。

町立病院の今後の運営は大丈夫なのか?

財政の許す限り努力する
(川口町長)

問 町立病院は、苦しい一般会計からの繰り入れ金等も含めて、運営されているが、今後の町立病院の経営及び存続に向けての方針を伺いたい。

答 川口町長 町立病院は財政の許す限り存続に向けて取り組む。

問 院長以下努力されていると思うが、現在の制度のもとでの経営は大変だ。



町立病院は大丈夫か?

病院事務局長の見解は。

答 河野参事兼病院事務局長 介護保険のスタートに向けて時代が大きく変化する。療養型病院としての方向や時代に沿った方法を検討し、住民の生命と健康を守りたい。

所信表明を忠実に実行せよ!!

全力で取り組む
(川口町長)

問 二期目川口町長の所信表明を聞いたが、それを受けての各担当課長の答弁では任期中に実現できそうにない事業もかなりある。町長の見解は。

答 川口町長 行政は継続性があり、大きな事業は予算が必要であることもご理解願いたい。

問 公約は「絵にかいたもち」であってはならない。住民は町長の公約を信じている。所信表明の重要性をどのように認識しているのか。
答 川口町長 全力を挙げて一生懸命取り組んでいる。

問 念願の畑総事業末端工事が完成した。喜びの反面、町道各路線に損傷等で改良舗装をしなければならぬ



畑総事業による町道の損傷を早く改良せよ!!

難病治療への 自己負担導入に反対を！

行革とはいえ、すべきでない
(川口町長)

井出幸夫 議員



低身長症も 打ち切りの対象に

問 「低身長症」の治療を受けている子供の家に、公費負担を打ち切るという通知が届けられた。この病気は成長ホルモンの分泌が少ないために背が伸びにくいというだけでなく、免疫力の低下などをも伴う病気である。町内での患者の状況は。

答 国清環境衛生課長 町内での小児慢性特定疾患治療研究事業の申請は、先天性代謝異常など五名。その中に低身長症が一名含まれている。

問

スモン病など三十九種類が、原因や治療法のわからない難病として指定されているが、これらの治療に対して、国は自己負担を導入しようとしている。町内の難病患者数及び、患者や家族への影響は。

答 国清環境衛生課長 町内の患者数は二十三名。これらの難病は慢性的で、単に経済的な問題のみならず、介護面や精神的にも負担の大きい疾病である。

問

財政構造改革法による予算削減のために、一番弱い立場の人に負担が押しつけられている。こういう弱いものいじめの政治には反対すべきだ。

答 川口町長 いくら行政改革とはいえ弱者即切

り捨ててしまうようなことはすべきでないと思う。

「高くなって病院 にも来れん！」

患者負担増には反対
(川口町長)

問

昨年九月からの医療保険制度の改正によって、薬代を始め三倍、四倍の患者負担になっている。病院運営や患者への影響は。

答 河野参事兼病院事務局 長 勝浦病院の外來は、制度が改正された九月以降減っ



きびしい運営の勝浦病院

問

国は、「高齢者医療保険制度」など今後さらに負担を押しつけようとしており、お年寄りにとつて安定した生活が脅かされつつあると思うが、町長はどう感じているか。

答

川口町長 厳しくつらく受け止めている。このような患者負担増には反対である。

学校へのコンピューター整備は？

問

文部省は、中学校・小学校においてコンピューターとインターネットの導入を計画していると聞かすが、どう対応するのか。

答

倉橋教育委員会事務局 長 教育用コンピューターの整備として、中学校では一人に一台を十年度予算に計上している。小学校においては、十一年度に二人に一台というところで整備をしていきたい。

同和団体助成金 削減を！

削減を！

問

昨年三月議会で町長は、「来年度予算には、同和団体助成金削減についての結果が、予算に現れてくるように最大限の努力をする。」と答弁したが、どのような努力をしたのか。町村会は本気でこの問題に取り組もうとしているのか。

答

川口町長 町村会において評議員として意見を申し上げている。町村会会長もかなり団体と接触している。しかし、難しい問題であり、町村長の意見がかみ合わないところもある。議会の皆さんの意を受けて、誠心誠意一生懸命取り組んでいきたい。



今年度コンピューター整備の勝浦中学校

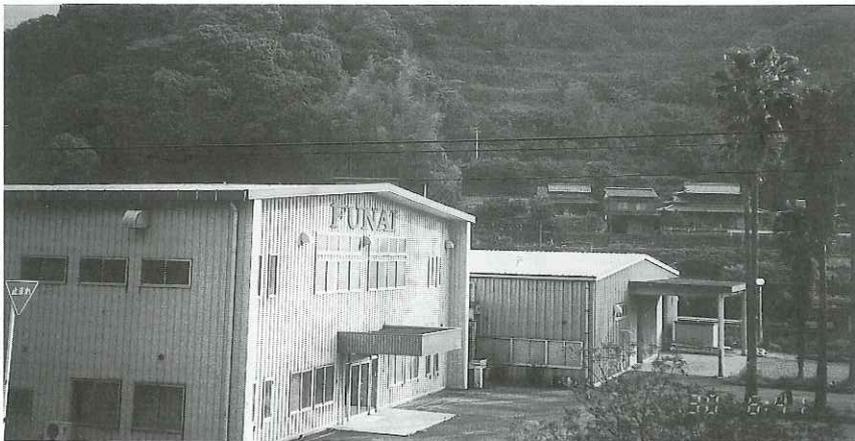
勝浦工場閉鎖の経過

追跡

どうなったんで!!

船井電機

- 12月15日 全員協議会で3名の議会代表を選出し、町長、産業課長と共に船井本社を訪問、存続を懇願。
- 1月12日 町長、議会代表、商工会会長が企業存続の住民署名簿を船井本社に提出し、存続要請。
- 3月12日 船井本社の総務部長他3名が来町。議会及び町理事者と協議。
- 3月13日 町長、議会代表、県商工労働部次長、企業立地課と共に通産省、県選出国議員、電機連合本部をそれぞれ訪問し協力依頼。
- 3月17日 船井電機勝浦工場長、船井電機勝浦工場労組役員と議会、町理事者と協議。
- 3月24日 議会全員協議会。
- 3月30日 船井本社常務、総務部長他2名が来町、議会及び町理事者と協議。
- 4月15日 議会全員協議会。



閉鎖された船井電機勝浦工場（敷地約6,600㎡）

跡地は町と協議を約束

以上のような経過の中で、町側としては、「誘致企業第一号であり、社員はもちろんのこと町民に与える不安と、商店街等に及ぼす影響は計り知れない。ぜひとも工場存続をして欲しい。」と強力に要請した。

しかし、会社側は、「これ以上勝浦工場を存続させることは、経営上無理である。」と主張し、「那賀川工場へ転勤後の社員については身分保障をし、通勤等に関する対応措置は労使とも合意済みである。」と説明した。

議会と町理事者はこの状況について慎重に検討を重ねた結果、残念ではあるが閉鎖もやむをえないとの結論に至った。

なお、勝浦工場の跡地は、船井電機の所有であるが、今後の利活用については町側と事前に充分協議すること、また閉鎖工場管理の徹底を強力に申し入れ、会社側もこれを了解した。

総務常任委員会先進地視察研修

(平成十年二月十七〜十八日)

山あいの廃校跡 こんな利活用も

坂本小学校の統合を目前に控えているため、高知県吾川村(あがわむら)を視察した。吾川村は、四国の最高峰石

鎚山に源を発する仁淀川の中流域に位置し、総面積八十三平方キロメートルのうち杉、桧等の植林が七〇パーセントを占めている。急傾斜地の多い山村地帯である。村の社会福祉協議会事務局長の案内で、廃校あとを福祉施設に改造した過疎高齢者生活センター「明神ランド」を視察。この施設は児童の減少に伴い、平成五年に上名野川小学校を廃校したものである。施設の概要は、鉄筋二階建、延六百九十八平方メートルで事務所、健康相談室、浴室、洗濯室、身体障害者用トイレ、居室ホール、料理室が備わっていた。

明神ランドを視察

利用条件として
一、年令はおおむね六十五才以上の者。
二、世話をする人がいない者。
三、冬期等住宅で生活に不安のある者。
四、福祉交流等若者やボランティアで、村長が必要と認められた者。

◎利用料金として

月額三千円(給食・風呂・料理室は実費相当額)、短期間宿泊は(一週間以内)一人一泊千円。

村には、中津明神山にスカイパーク・パラグライダー飛行基地が建設されていて、シーズンともなれば若者たちの来村が期待され、短期宿泊を見込んでいるなど一応の説明を受けた後、各委員から質問が出された。

◎その主な内容

「運営方法経営内容等はどうか。」
「福祉の充実として取り組んでいるので経営は度外視している。」

とのことであり赤字経営覚悟でなければできないと感じた。

一本釣り

中土佐町の夢計画

青い海、緑豊かな山野。自然環境のすばらしい恵まれたこの町は、「土佐の一本釣り」としても有名。特に宿泊施設「黒潮本陣」が注目された。

この施設は国の「戦略的かつ重点プロジェクト」と、県の「ふる里定住促進モデル事業」の組み合わせにより宿泊温泉レストラン、体験館、別荘等多くの機能が完備された近代施設であった。

平成四年から「町づくり委員会」を設置し議論を重ね、地方振興アドバイザー派遣事業、ふる里ふれ合いプロジェクト計画策定など、町をあげて「ふる里景観モデル事業」に取り組み、事業費七億七千万円、建築面積二千平方メートルで平成八年完成した。西森町長の英断と町民の総意が結集された事業として感銘した。国の諸制度をうまく活用した点考えさせられた。



黒潮本陣

三月議会において、滝口良一議員に代わり、新たに井出幸夫議員が編集委員に選任されました。

議会だより「かつうら」に寄せて

勝浦町果樹研究会副会長 大谷和恵



会の皆さんにお願いしたいと思います。

平成十三年度には「第四十七回全国カンキツ研究大会」が、本県で開催されます。柑橘主産地の勝浦町として、今後どのように取り組んでいくか、果樹研究会でも検討しています。

オレンジ及びオレンジ果汁の輸入自由化、果実消費の停滞や担い手不足、高齢化、生産基盤整備の立ち遅れ等、果樹農業は厳しい情勢にあります。果樹農業の持続的な発展、生産農家の経営安定を図るため、栽培技術の向上対策を議

町議会のご指導、ご協力をいただいて、実りある大会にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。議会だより「かつうら」の祈りいたします。

保健施設の建設を

勝浦町老人クラブ連合会会長 高橋正雄



シルバー人材センターで働き、高齢者学級や、交通安全教室で学び、敬老会、桜まつりで歌や踊りにまた、花や孫の木を育て、ゆとりの心を養っています。

私たち老人クラブは、いろんな活動を通して、相互扶助の精神を高め、生きる喜びをわかち合っています。

このことをご理解いただいた町当局と議会が一体となり、「高齢者生きがい総合対策事業」を企画され、ご支援をいただいております。

私がいつも心配するのは会員の健康です。介護施設の充実も大切ですが、ぜひ議会にお願いしたいのは、健康づくりのための保健施設の建設です。私たちも、議会のご期待にそうべく努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

「型は古いが不況にや強い……」ある歌すき営業マンの語り口、私達編集委員が皆さんにご一読をおすすめる場合、「活字に弱い」が心をこめて……でしようか。創刊から半年、そんな気持ちで取り組んできました。

堅苦しい……とのご批判もありましたが、また一方、広報を読まれた町民のかたが議員宅を訪れ、感想やご提言をいただいた……といううれしい話も聞きます。

今後一人でも多くのかたに親しんでいただくため、工夫もしていきたいと思っております。皆様からのご意見、ご提言などもお寄せ下さいますようお願いいたします。

議会のうごき

2 月

- 3日 議会広報調査特別委員会
- 4日 徳島県町村議会議長会理事会
- 5日 7日 9日 議会広報調査特別委員会
- 12~13日 厚生常任委員会、県外視察研修
- 16日 小松島市外3町村衛生組合し尿処理施設、起工式
- 17~18日 総務常任委員会、県外視察研修
- 19日 全国自由同和会徳島県連、勝浦郡連合会との交換研修会
- 23日 議会運営委員会
- 24日 徳島県町村議会議長会定期総会、勝名地区町村議会議長会定期総会
- 26日 平成10年第1回臨時議会、全員協議会、議会運営委員会
- 28日 横瀬地区農業集落排水施設完成式祝賀会

3 月

- 2日 総務常任委員会
- 2~3日 産業建設常任委員会県外視察研修
- 4日 議会運営委員会
- 5日 産業建設常任委員会
- 6日 厚生常任委員会、勝浦病院運営委員会
- 9日 国保運営協議会
- 10日 3月定例議会開会、全員協議会
- 12日 専門学校卒業式
- 14日 専門学校評議員会、勝浦中学校卒業式
- 16~17日 3月定例議会、一般質問
- 18日 各小学校卒業式、一般質問
- 19日 一般質問、全員協議会、議会運営委員会
- 20日 3月定例議会
- 23日 3月定例議会、議会運営委員会、厚生常任委員会
- 24日 3月定例議会閉会、議会運営委員会、厚生常任委員会
- 26日 議会広報調査特別委員会
- 27日 小松島市外2町総合隔離病舎事務組合議会定例会、小松島市外3町村衛生組合議会定例会
- 30日 生比奈保育所落成式

4 月

- 5日 専門学校入学式
- 6日 議会広報調査特別委員会、厚生常任委員会
- 7日 勝名地区町村議会議長会
- 9日 各小・中学校入学式
- 13日 議会広報調査特別委員会
- 15日 戦没者慰霊祭、全員協議会
- 17日 20日 22日 議会広報調査特別委員会
- 24日 東部広域農道整備促進特別委員会
- 25日 議会広報調査特別委員会
- 27日 土地開発公社理事会
- 29日 30日 議会広報調査特別委員会